



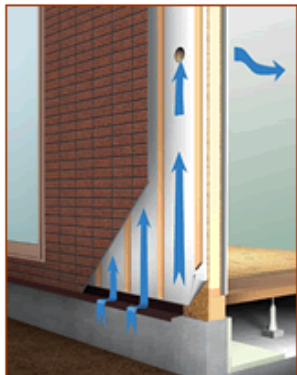
## 24時間計画換気システム

ワンランク上の高气密性能(C値=1.0)で、質の高い計画換気を実現します。

SW工法住宅では、C値=1.0という高い気密性能にこだわり、隙間を極力抑えることで外気とともに入り出すホコリや砂塵などを大幅カット。また、計画換気により取り入れる外気は、フィルターを介し、花粉など微細な粒子まで取り除けます。

室内をゆるやかに空気が流れ、空気のよどみを少なくします。

計画された換気経路にもとづいて、ゆるやかな空気が流れ、室内空気のよどみを解消。空気のよどみによる室内の湿気上昇を抑制し、不快な結露の発生を抑えます。



SW工法住宅給気時の流れ (通気層方式の場合)

計画換気システムイメージ図 (けいざい君の場合)



換気経路イメージ図

## 高气密、高断熱構造

玄関ドアやサッシ等は、基材のアルミと断熱性に優れた樹脂素材(アルミの1250倍)の複合構造。アルミの特長をそのままに、樹脂が窓まわりの激しい熱移動をしっかりと抑えます。また、基礎部分の熱移動には、基礎の内側または床での断熱施行でしっかりと対応します。

### 窓まわりの断熱構造

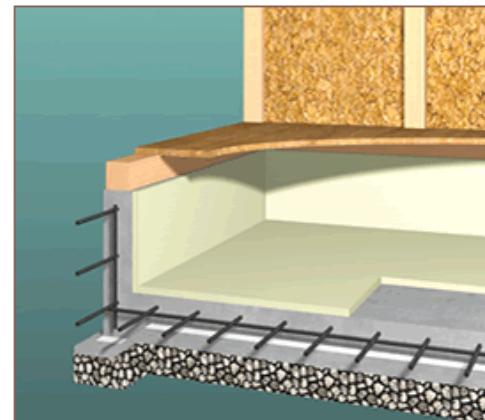
断熱・防露サッシ



3.49W/(㎡・K)以下[3.0kcal/(㎡・h・℃)以下]  
アルミ+樹脂の複合構造で高い断熱性能を発揮します。

### 基礎部分の断熱構造

基礎断熱



基礎に断熱材を施行します。  
※基礎の仕様は地域・地盤の状況によって異なります。

## 独自の「SWパネル」高耐震構造。



国土交通大臣認定  
木造最高壁倍率

**5倍パネル** × **5PANEL**

構造用合板OSBによって、断熱材を両面からサンドイッチしたSW5倍パネル。その強さは、建築基準法で木造最高となる「壁倍率5倍」の国土交通大臣認定を取得し、地震に強い住まいを実現します。



※実際の物件では、プランにより壁強度を考慮し、壁倍率5倍と2.5倍のSWパネルをバランスよく配置します。  
※壁倍率5倍と2.5倍は、パネルの取付方法が異なり、パネル構造は同じです。  
※上記5倍パネルは、東北以南対応商品です。(北海道仕様は2.5倍)

### 壁パネルの強度

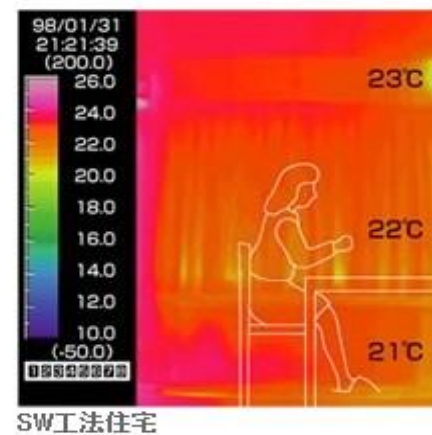


壁倍率とは、地震の横揺れに対する強度。数値が大きいほど強い壁を表します。(壁倍率1倍は、軸組工法の柱間に90×15mmの木材を筋交いとして入れた場合の強度)

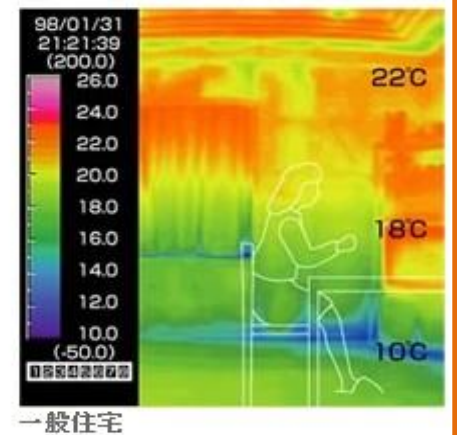
●上の図で変形した面積(水色部分)が同じなら、右の壁は水平方向の外力に対して、左の壁の5倍の耐力を持っている——すなわち「壁倍率5倍」ということとなります。

## 気密性能の高いSW工法住宅は、部屋の上下温度差が少ない

壁面温度熱画像による部屋の上下温度差の比較：実在住宅測定例 (赤系ほど温度が高く、青系ほど低いことを示します)



SW工法住宅



一般住宅

## 安心と信頼の保証



- \*地盤保証
- \*住宅瑕疵担保責任保険(10年保証)
- 第三者機構による検査(基礎配筋・構造体・防水・完了)、諸官庁の完了検査
- 気密測定検査(性能報告書 Q値C値μ値)、断熱材無結露保証書
- CO2ダイアグノシス(地球にもやさしい)、完成後の定期点検実施(安心の定期訪問・検査)

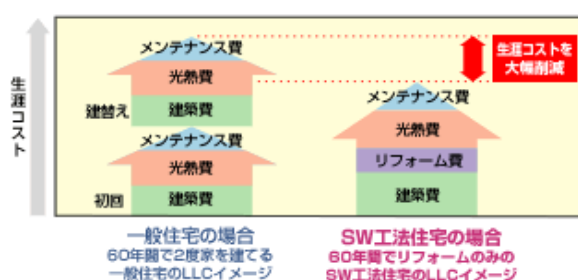


## 耐震補償付き スーパーストロング構造体

「性能表示」制度において耐震等級3(最高等級)が実現可能

## 60年でこんなに差がつく住まいに関する費用 (SW工法住宅と一般住宅とのシミュレーションの一例)

一般住宅とSW工法住宅のLCCイメージ比較



60年間の差額：約2,875万円  
**約48万円/年**の差  
(約4万円/月)



お得：光熱費も大きくかわります！

この例では、新築時の220万円の違いが、60年間でその13倍ものコスト削減につながる事が分かります。

購入当初はやや費用がかかるスーパーウォール工法住宅も、住むほどにその良さを実感できます。60年間住み継いだ時点で、住宅の建築・メンテナンス費用他差額はおよそ2,875万円、結果的に毎年約48万円もの節約になります。

SW工法 新築 坪50万～  
当社標準仕様 (キッチン、お風呂、トイレ、洗面台、照明器具は当社指定)

良い環境で健康長く住んでお得 地震に安心